

年 組 名前：



川倉を組み立てる児童—山梨・日川小



完成した川倉



QRコード
から動画を
見られます

〈穴山菜津美〉

早く完成させるため、ひもの結び方を何度も練習した」と振り返り、坂野翔亮さんは「声を掛け合いながら上手にできた。これまで努力してきたよかった」と話していた。

山梨・日川小児童「川倉」組み立て 伝統の水防技術披露

山梨・日川小は23日、堤防の決壊を防ぐ伝統的な水防技術「大川倉横結縛法」を児童が披露する「川倉集会」を開いた。6年生が丸太を組んで水防施設「川倉」を完成させた。

日川地区は、日川と重川に挟まれていることから、水害から地域

を守るため古くから水防技術が発達。学校では約40年間、地域学習の一環として操作の生から指導を受け、川倉の組み立てを学んできた。

中村柏翔さんは「素早く完成させるため、ひもの結び方を何度も練習した」と振り返り、坂野翔亮さんは「声を掛け合いながら上手にできた。これまで努力してきたよかった」と話していた。

分ほどで三角すい形の川倉を完成させた。日頃の練習の成果に会場からは大きな拍手が送られた。

集会では在校生や保護者が見守る中、児童23人が声を掛け合いながら、大小21本の丸太を運んで麻縄で結わえ、15

(2024年1月26日付 山梨日日新聞 16面)

問1 山梨・日川小の児童が、丸太を組んで完成させた、水防施設の名称を教えてください。

.....

問2 山梨市の日川地区は、なぜ古くから水防技術が発達したのですか。

.....

問3 児童は、どのようにして、三角すい形の水防施設を完成させましたか。

.....